

平成 29 年 7 月 14 日

平成 29 年度国土強靱化ワークショップの開催について

内閣官房国土強靱化推進室では、自主的な活動を創造する、またはすでに活動しているコミュニティのコラボや触発を促す対話型ワークショップを実施します。

平成 28 年度から、ナショナル・レジリエンス・コミュニティ(仮称)(通称:レジリ学園)という有志による主としてオンライン(フェイスブック公開グループ)での情報交換・交流や活動・交流を拡大していくためのワークショップを実施し、防災・減災など各活動の関係者や関心の薄い層への国土強靱化の広がりを進めています。

本年度は、地方都市の開催を含め全8回実施します。

第 1 回は、地域の防災・減災活動等のリーダー候補者を集め、地方都市での開催に向けた対話型ワークショップを 8 月 26 日(土)、東京都内で開催します。

○国土強靱化ワークショップ(第 1 回)

テーマ:「災害時に強くなやかに支えあえるコミュニティを地域につくろう!」

日 時:平成 29 年 8 月 26 日(土)13:00~18:00

場 所:TKP 品川カンファレンスセンター バンケットホール4J

定 員:30 名

主 催:内閣官房国土強靱化推進室

※詳細は、別紙1のとおり。

(参考1)

「ナショナル・レジリエンス・コミュニティ(仮称)」については、別紙2のとおり。

(参考2)

フェイスブック公開グループ(レジリ学園~国土強靱化推進室連携 ナショナル・レジリエンス・コミュニティ(仮称))については、以下の URL のとおり。

<https://www.facebook.com/groups/resiligakuen/>

(注)別途、フェイスブックのログインが必要です。

本件問い合わせ先:

内閣官房国土強靱化推進室 寺尾、金子
TEL03-6257-1777、FAX 03-3581-0867

災害時に強くしなやかに支え合える コミュニティを地域につくろう！

防災・減災に興味のある地域リーダー募集！！

災害時に支え合えるコミュニティを日本全国に増やしていくために、地域のコミュニティリーダーを対象としたワークショップを開催します。開かれた場のづくり方、悩みを相談したくなる対話の進め方など、ワークショップ形式で学びます。

- 防災・減災について考える
ワークショップのやり方がわかる
- コミュニティづくりに大事なことがわかる
- 全国のリーダーとつながれる



話題提供者

コミュニティデザイナー
株式会社studio-L 代表取締役

山崎 亮 氏

【プロフィール】

東北芸術工科大学教授。慶応義塾大学特別招聘教授。1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。2005年にstudio-Lを設立。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくりなどに関するプロジェクトが多い。

開催日 平成 29 年 8 月 26 日 (土)

時間 13:00～18:00 (受付開始 12:30～)

会場 TKP 品川カンファレンスセンター
〒108-0074 東京都港区高輪 3 丁目 26 番 33 号
京急第 10 ビル (品川駅から徒歩 1 分)

定員 30 名

●プログラム【予定、詳細は募集要項参照】



募集締切：平成 29 年 8 月 14 日 (月)

詳細資料・お申込みはこちら

※応募者多数の場合は選定とさせていただきます。

<http://www.landbrains.co.jp/lb/bousai/index.html>

お問合せ

【「国土強靱化ワークショップ」事務局】ランドブレイン株式会社 担当：宇治田、松本、紙田
〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-2-10 平河町第一生命ビル7階
電話：03-3263-3811

主催：内閣官房国土強靱化推進室

ナショナル・レジリエンス・コミュニティ(仮称)(通称:レジリ学園)

活動はオンラインとオフライン両面で実施

- ナショナル・レジリエンス・コミュニティ (仮称) (通称:レジリ学園) (オンライン)
 - ・フェイスブック公開グループのホームページによる防災・減災に興味・関心がある方々の情報交換・交流など
- レジリナイト (オフライン)
 - ・月1回、国土強靱化推進室が場を提供し、関係者間の情報交換・交流

活動の創造・コラボ・触発を促す

国土強靱化ワークショップ

ナショナル・レジリエンス・コミュニティ (仮称) による新たな情報・関心をワークショップ形式で実施

レジリエンス



地方創生
まちづくり
教育、福祉
デザイン
経済、IT、...

- 自主的な活動を創造する、またはすでに活動しているコミュニティのコラボや触発を促す対話型WSを実施。
- 多様なテーマとレジリエンスを掛け合わせ、有事だけではなく平時にも生きる価値を生み出す。

各活動自らが発信

コミュニティが発信

**国土強靱化
HP/SNS等で発信**

・コミュニティの活性化につながるインセンティブとして

メディアでの発信

**各活動の関係者や
関心の薄い層への
広がりへ**

キックオフ・ミーティング

コミュニティについてのアイデアソン